

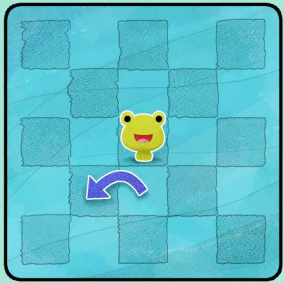
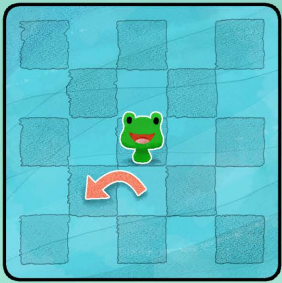
うらがエル

内容物

『みどりカエル タイル』：18枚(6種類 各3枚)

『きいろカエル タイル』：18枚(6種類 各3枚)

『タイル置き場(説明書裏面)』



●基本ルール

ゲームの概要

プレイヤー同士が交互にタイルを置きます。

タイルを置くと そのタイルの周りにある他のタイルが反転し移動します。

ゲームが終了した時に、表側で置かれているタイルを数え 自分の色のカエルタイルが多いプレイヤーが勝者となります。

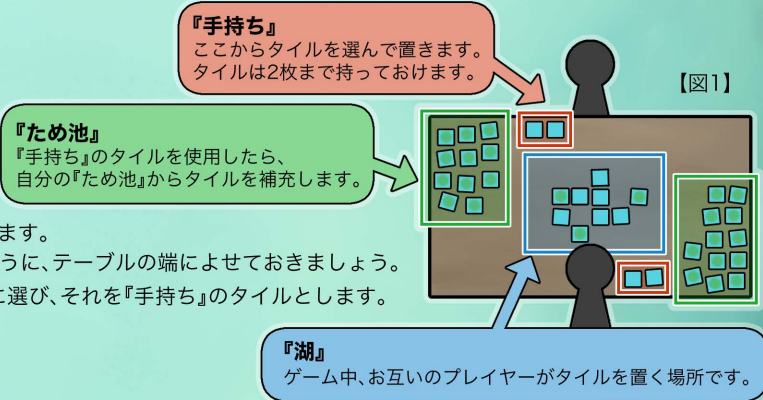
使用する物

『みどりカエル タイル』18枚 『きいろカエル タイル』18枚

※基本ルールでは『タイル置き場』は使用しません。

ゲームの準備 【図1】参照

- ジャンケン等で先後後手を決めます。
- プレイヤーはそれぞれ 担当する色(みどり・きいろ)を決めます。
- 自身が担当する色ごとにタイルを分け、裏側(葉っぱ)にしてシャッフルします。
- これを『ため池』と呼びます。ゲーム中に『湖』に置くタイルと混ざらないように、テーブルの端によせておきましょう。
- プレイヤーはそれぞれ 自身の『ため池』から2枚を裏向きのままランダムに選び、それを『手持ち』のタイルとします。
- お互いに『手持ち』のタイルを公開し、ゲームスタート!!



ゲームの流れ

ターンプレイヤーは以下の手順で行動します。

- 『手持ち』からタイルを1枚選んで『湖』に置きます。
- [置いたタイル]から見て →マークが描かれた位置にあるタイルを反転しながら移動させます。
『連鎖』が発生した場合はその処理を行います。
- 自身の『ため池』から『手持ち』にタイルを1枚補充します。
※『ため池』にタイルがなくなったら補充はしません。
- 自分のターンを終了し、相手のターンになります。

上記の手順をプレイヤー同士が交互に繰り返し、全てのタイルを置いたら、そのターンの最後にゲームが終了します。
『湖』に置かれている表側のタイルを数え、自分の色のカエルタイルが多いプレイヤーが勝者です。
両プレイヤーのカエルタイルが同数の場合、引き分けとなります。

タイルの置き方 【図2】参照

- タイルは(表側・裏側)のどちらかを選んで置きます。
- タイルは回転させてもかまいません。イラストの向きに関係なく置くことができます。
- すでに置かれているタイルと(縦・横・斜め)のいずれかで接するように置いてください。
※先手の1ターン目は例外として、他のタイルに接することなくタイルを置きます。
- すでに置かれているタイルに重ねて置くことはできません。
- (縦6枚 × 横6枚)の範囲内に収まるようにタイルを置いてください。
- タイルの配置をパスすることはできません。
- 『湖』に置かれているタイルはゲーム中に移動します。
そのため、一度 タイルを置けなくなった場所でも、あとからタイルを置けるようになりますことがあります。



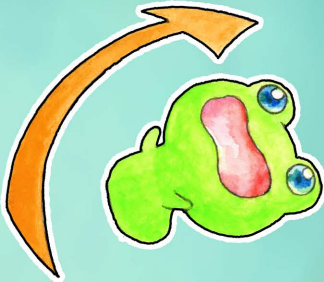
タイルを反転移動させる

～基本～ 【図3】参照

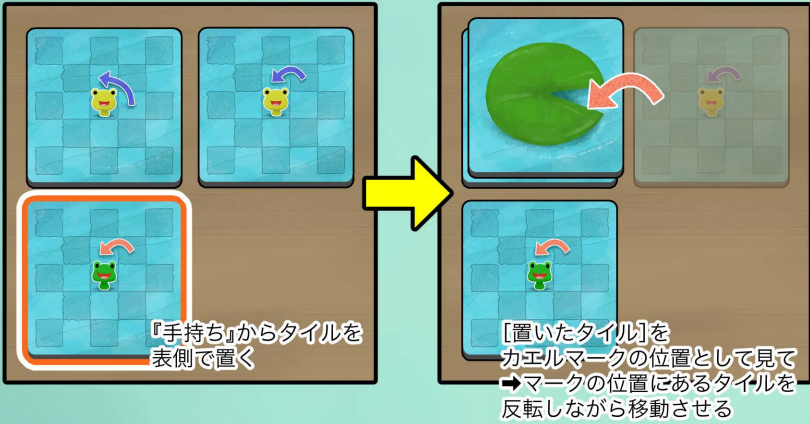
『手持ち』からタイルを表側で『湖』に置いた時、他のタイルを反転移動させる処理が発生します。

[置いたタイル]に描かれたカエルマークをそのタイルの位置として見て →マークが描かれている位置にあるタイルを反転しながら移動させます。

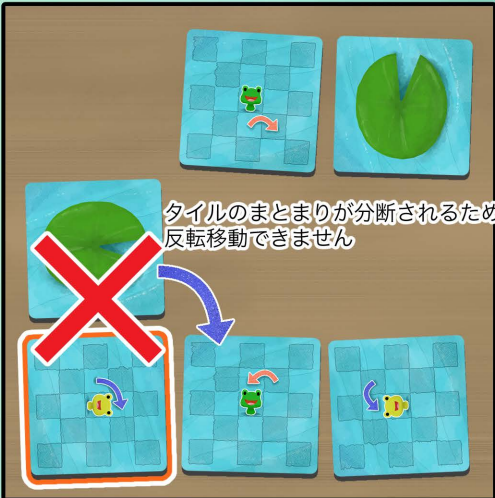
- 反転移動が可能な場合は 必ずその処理を行なってください。
- タイルの移動先にすでにタイルがある場合、その上に重ねて置いてください。重ねられる枚数に上限はありません。
- タイルを移動させる方向は →マークの向きに合わせてください。
- 反転移動をする際、そのタイルの向きを回転できます。また、移動元の位置に残っているタイルも回転できます。
タイルが複数枚重なっている場合は、それらのタイルをまとめて回転させてください。
- [反転させずに移動のみを行うこと]や[移動させずに反転のみを行うこと]はできません。
- [タイルを裏側で置いた場合]や[→マークの位置にタイルがない場合]はタイルを反転移動させる処理は発生しません。
- タイルの移動先が、タイルを置ける範囲外となる場合、その反転移動の処理は行いません。
- タイルを反転移動させることによって『湖』に置かれているタイルのまとまりが分断されてしまう場合、その反転移動の処理は行いません。 【図4】参照



【図3】



【図4】



～連鎖～ 【図5】参照

タイルを反転移動させた際に 以下のいずれかの条件を満たしていた場合、続けてタイルを反転移動させる処理が発生します。

このように連続してタイルを反転移動させることを『連鎖』と呼びます。

- 裏側から表側に反転移動したタイルが 自分の色のタイルである場合
- タイルが複数枚重なっている状態からタイルを反転移動させた際、移動元の位置にあるタイル(複数枚ある場合は、それらの一番上にあるタイル)が表側の自分の色のタイルである場合

- 『連鎖』による反転移動からもさらに『連鎖』は続きます。
- 『連鎖』の条件を満たしているタイルは 必ずその処理を行なってください。
- 複数のタイルが『連鎖』の条件を満たしている場合、プレイヤーが『連鎖』の順番を決めることができます。
(『連鎖』の条件を満たしたタイミング)と、(『連鎖』の処理を行う順番)は同じでなくてもかまいません。
- 『連鎖』の条件を満たしたタイルが、その後の『連鎖』の途中で裏側になった場合、そのタイルは『連鎖』しません。
- 『連鎖』の回数に制限はありません。『連鎖』の条件を満たすたびに処理を行います。
※『連鎖』の回数が蓄積するわけではありません。

『連鎖』の条件を満たしたタイルが、その『連鎖』の処理を行わずに裏側になり、ふたたび表側になり『連鎖』の条件を満たしたとしても、『連鎖』が発生するのは1回です。 これは、タイルが裏側になるとそれまでに『連鎖』の条件を満たしていたことは無効になるためです。

【図5】

